

小さい者の一人が減びることは天にいますあなたがたの父のみ心ではない。



社会福祉法人 小羊学園

〒431-1304
静岡県浜松市北区細江町中川7440-1
電話：053-437-0826 FAX：053-437-0849
E-mail kohitsuji@imix.or.jp
H.P http://www.kohitsuji.or.jp/
発行人：稲松 義人
印刷所：聖隷サービス(有)
定 価：一部 30円

2008年4月20日
第 302 号

鯉のぼりを見上げて

理事長 稲松 義人

去る四月二十九日、よいお天気に恵まれ、今年も創立感謝祭を催すことができました。今年に移転改築事業を覚えてバザーを開催し、模擬店や喫茶も有料にさせていただきました。また、アトラクションとして、聖隷クリストファー高等学校吹奏楽部の皆さんが野外演奏を披露してください、青年寮ホールでは、初めてポイントオブハママツゴスペルクワイヤの皆さんに出演していただき、楽しいゴスペルの演奏を楽しむことができました。

創立感謝祭のような行事も、昔は入所利用者とそのご家族と職員、旧職員が中心でしたが、最近では準備から片付けまで、学生ボランティアの皆さんが大勢で手伝ってくださいますし、法人内の通所施設の利用者や短期入所などの在宅利用者も何組かご家族連れで参加してくださるようになりました。障がいのある子どもたちの福祉は、昔ならば、家庭で介護するのが大変になると施設入所ということになり、家庭で頑張るか施設に入所してもらいしかありませんでした。小羊学園の子どもたちは三〇年前までは養護学校に在籍することもできませんでした。

最近では、地域福祉がいわゆる時代ですから、本来は、短期入所や日中一時支援などを利用して、できるだけ施設に入所しないで生活できるようにするのが、福祉サービスの本流だと思えます。児童寮と青年寮の入所者は合わせて六〇名ですが、二〇〇七年度でみると、短期入所や日中一時支援で小羊学園を利用する人は約一四〇人です。中には年一回だけ利用したという人もいますが、毎日のように利用する人、あるいは毎週、毎月利用して、それによって何とか施設入所せずに、家庭での生活を続けておられる人も結構いらっしゃいます。

ご家族が病気になる入院するとか、体調を崩されて、通常の生活ができなくなると、短期入所や日中一時支援の回数を増やしたり、一時的に入所していただいたりすることで対応するのですが、そのようなケースが重なってくると、お断りできないと思いがら、施設として受け入れられる限界を超えてしまい苦しんでいます。

最近も、児童相談所に一時保護され帰る家もない子を受け入れるために、ご家族がご病気なのでということが入所してもらっておきながら病気が回復しないうちに退所してもらったり、介護疲れでお母さんが倒れそうな現状を知っていながらなかなか対応できなかったりというのが実情です。

児童寮に入所する子どもたちが通学

している養護学校は、教育改革の一環で今年度から「特別支援学校」と呼ぶ方が改められました。小羊学園を利用される子どもたちは、確かに特別な支援を必要とします。それで一般の子どもたちと違って、「特別支援学校」という名前の学校に通い、特別に配慮されたカリキュラムで教育を受けているのです。しかし、そのために一般の子どもたちよりも長時間かけて遠方の学校に通学します。また、在宅の子どもたちの学童保育は、障がいのない子どもたちよりもさらに不十分な現状にあります。名前は「特別支援学校」ですが、長い夏休みは一般の学校と同じで、特別な支援はあまりありません。普通の中学校や高校のように部活に通うわけでもなく、体力をもてあます思春期の難しい年齢の子どもたちを、特にプログラムもないまま、ずっと家庭で対応しなければならぬ夏休みは、これまでも毎年、ご家族にとって大きな負担になってきました。

今年も創立感謝祭で賑わった園庭を見下ろすように、鯉のぼりがゆったりと泳ぎます。子どもたちの健やかな成長を願う鯉のぼりです。子どもたちが大人に見守られて成長していくのは、障がいがあってもなくても同じです。鯉のぼりに願いをこめて、特別な支援が必要な子どもたちにこそ、特別な配慮が行き届くように、理解と協力の輪を広げていきたいと願っています。

創立 感謝祭

小羊学園が定員三〇名の精神薄弱児施設（当時の施設種別）として開園したのは、一九六六年五月一日です。この日が小羊学園の創立の日となります。創立者は日本キリスト教団遠州教会の信徒の故山浦俊治・明子夫妻ですが、独自に社会福祉法人としての認可を取得せず、社会福祉法人十字の園の理解と協力の下、同法人傘下の施設として開園しました。その後、年長となった子どもたちのために、小羊学園から分けて、おおよらの家、若樹学園が開設され、一九八五年（昭和六〇年）には小羊学園（児童寮）に併設して小羊学園青年寮が開設され現在のかたちになりました。その後、一九八七年一〇月一日に、社会福祉法人としての認可を受け、十字の園から自立することができました。



小羊学園を支える会

創立者の山浦先生ご夫妻（故人）は、小羊学園の働きを支えている（その中に小羊学園を利用される方たちのご家族や職員も含めて）すべての人たちを「小羊学園を支える会」と称して大切にしてきました。その中には、ボランティアとしてお手伝いくださる方たちがあり、定期的にご献金くださる方があり、色々な品物を贈ってくださる方があり、その他にも様々なかたちで小羊学園をご応援して下さり、温かい心を寄せてくださいました。特に長年にわたってご支援くださる方が多いことは本当に嬉しいことです。

記念礼拝

キリスト教精神を基盤に創立された小羊学園の創立感謝祭は、記念礼拝から始められます。毎年、近隣の教会の牧師先生にご協力いただきますが、今年も、日本キリスト教団遠州栄光教会の平野芳子牧師が礼拝説教をご担当くださいました。



移転工事のために

今年の創立感謝祭は、創立四二周年でしたが、二年前の四〇周年を機に具体的な取り組みを始めた児童寮・青年寮の移転改築計画は、昨年春、国と浜松市から補助金の内示を受けました。



しかし、実施設計を詰めていく中で建築資材の高騰などもあり、資金計画の見直しを迫られました。自分たちの力では困難と思われる事態でしたが、多くの皆様から激励とご支援を受けながら、お蔭様で、現在工事は着々と進行中です。

バザー

それで、創立感謝祭の中で少しでも資金集めをしようとバザーを計画しました。そのために多くの方が物品を提供して下さり、当日は家族会（利用者のご家族で組織されている。）の皆さんも協力くださいました。天候に恵まれたため、園庭の桜の木の下でさわやかな風に吹かれながら露店でのバザーとなりました。

園遊会

創立感謝祭は、小羊学園（児童寮と青年寮）が中心に企画していますので、両施設に入所する利用者や職員が基本ですが、そこに利用者のご家族、退職した職員など、ご家族連れで顔を見せてくださる方もいらっしゃいます。また、日頃は通所施設や日中一時支援等で施設を利用される方、近隣にある施設にお住まいの方、教会関係の方、養護学校など関係機関の方、日頃はボランティアとしてお手伝いしてくださる方、中にはどこからいらしたのか分からない方もいらっしゃいますが、みんなで楽しい雰囲気をつくってくださいます。毎年、重い障がいのある小羊学園の利用者の皆さんを中心にして、皆が集い、楽しさを共有できることが、小羊学園にとって大切なことだと感じています。



喫茶

室内では、今年も喫茶コーナーを設けました。飲み物に添えてお出ししたパウンドケーキとクッキーは、毎年小羊デイケアホームの活動で作ったものを分けてもらうのですが、遠州栄光教会のメンバーの原さんもお手製のパウンドケーキを届けてくださいました。毎年、デイケアホームのクッキーは好評で、今年は販売用に準備したのも完売することできました。



野外演奏

聖隷クリストファー高等学校吹奏楽部の皆さんには、小羊学園の創立感謝祭に、三年連続で演奏してもらっています。聖隷クリストファー高校は近くにあり、労作という授業では、小羊学園にもお手伝いに来てくださるのですが、これからの時代を担っていく若い人たちが様々なかたちで交流してくださることはとても嬉しいことです。今年、職員の出水巖生さん（小羊デイケアホーム施設長）もトランペットを手に特別参加し一緒に楽しい演奏を聞かせてくれました。



ゴスペルクワイヤ

ポイントオブハママツゴスペルクワイヤは、浜松を中心にしてゴスペルミュージックの愛好者約八〇名が所属しているコーラスグループです。小羊学園の職員二名がそのメンバーであることをきっかけに、今年はじめて出演をお願いしました。会場が狭いこともあり、今回は約三〇名が来園してくださったのですが、迫力満点のリズムとハーモニーに、小羊学園の利用者の皆さんもノリノリで、立ち上がってからだをゆすったり、手拍子をしたりして、演奏を一緒に楽しむことができました。メ

ンバーの多くはクリスチャンではなく、教会とも縁がない人たちとのことでしたが、指導しておられる平光知世乃さんは、本場アメリカでゴスペルを勉強された方で、福音（イエス・キリストのメッセージ）を伝えたいというお話のとおり、お人柄と楽しい演奏から、聴かせてもらった私たちにもハッピーな気持ちに分けてくださいました。



これから多くも皆さんに支えられながら、小羊学園の支援を必要とする子どもたち、障がいのある人たちを中心に、お互いに助け合い、励まし合い、赦し合い、分かち合える交わり場をつくっていくことができれば幸いです。宜しくお願いします。

評議員の改選の報告

三月二二日の理事会において、任期満了による評議員の改選をしました。今回はあえて理事との兼任を避けたほか、職員以外から就任していただいた、沖原由美子さん（聖隷三方原病院看護部次長）、丸畑つや子さん（つばさ静岡利用者保護者）、山本敏博さん（聖隷福祉事業団理事長）、和久田佳代さん（聖隷クリストファー大学講師）、の四名の方々にも退任していただくことになりました。これまでのご協力に心からの感謝の意を表します。

今回の選任に際しては、職員の中から選任される評議員五名、利用者家族等から選任される評議員五名、地域及び学識経験者の中から選任される評議員五名という目安を設け、それに添って理事長より推薦があった候補者が原案通り承認されました。新しく選任された評議員は次のとおり。任期は二〇〇八年四月一日より二〇一〇年三月三十一日までの二年間となります。

（太字は新任評議員）

- 青木善治 聖隷三方原病院事務長
 - 小林 眞 日本基督教団遠州教会牧師
 - 杉本 民 前つばさ静岡
 - 長谷川了 聖隷学園理事長
 - 渡辺禎子 前小羊学園青年寮寮長
- （以上、地域・学識経験者から五名）

- 江間克弥 マルカート利用者保護者
- 小出隆司 浜松市手をつなぐ育成会会長
- 鈴木照義 支援センターわかぎ保護者の会長
- 田中清司 小羊学園家族会会長
- 牧野善治 つばさ静岡利用者保護者

- （以上、利用者の家族等から五名）
- 雨宮 寛 アグネス所長
- 池谷慎人 法人事務センター長
- 小原英世 支援センターわかぎ事務長
- 古橋 誠 マルカート施設長
- 松原康好 支援センターわかぎ施設長
- （以上、職員から五名）

早川 實 先生永眠される

小羊学園の創立の頃からの入所者のご父兄であり、静岡県重症心身障害児(者)を守る会の初代会長であった早川實先生は一月一五日逝去されました。重症心身障害児施設おおぞらの家の設立には大きな貢献をされ、社会福祉法人小羊学園の設立の時には、設立理事のお一人として加わっていただきました。お仕事では、保育の場での子どもの創作活動について数々の功績を残された他、画家としておおぞら療育センターリハビリ室の壁画のほか、私たちのためにも数々の作品を残してくださいました。心から哀悼の意を表しますとともに、慎んでご報告いたします。

小羊学園移転計画

建物の躯体が建ちあがりはじめました



どうぞ、目標達成のために続けてお祈りください。皆さまの周囲で新たにご協力いただけそうな方をご紹介いただければ幸いです。今回も心からの感謝をもって中間報告をさせていただきます。



小羊学園・移転改築計画にご協力ください

（口座名義）「小羊学園を支える会」
 郵便振替口座 00890-4-45415
 リソナ銀行浜松支店（普通）040005
 静岡銀行細江支店（普通）043483
 必要があれば、募金のお願（振込用紙）を、お送りいたします。下記へご連絡ください。
 問い合わせ先：小羊学園
 〒431-1304 浜松市北区細江町中川 7440-1
 電話 053-437-0826

知的ハンディのある子どもの夏休みの生活を支援する

アルバイトスタッフ大募集

小羊学園児童寮では、今年も特別支援学校の小学部、中学部の子どもの夏の夏休みの生活を支援します。障がいのある子の楽しい夏休みの思い出づくりにあなただも参加しませんか。

期間：八月一日～一〇日、
 八月一八日～三一日
 時間：午前八時半～午後五時
 時給：八〇〇円
 お問い合わせ：小羊学園（鈴木良成）
 電話（〇五三） 四三七一〇八二六

編集後記

先月、つぶえの熱心な読者であったTさんの計報を受けた。小羊学園の創立者故山浦俊治氏との関係から永年にわたってご支援くださった。私はお目にかかる機会はなかったが、ハンセン氏病を罹患された経歴から療養所で生活してこられた方と聞いている。山浦氏亡き後もつぶえ発行のたびに欠かさずことなく、率直な感想やご意見を送って下さった。どうしてもワーカールとしての視点に立ち、私が当事者の視点に立ちきれない欠けを鋭く指摘して下さる貴重な存在であった。人生の先輩として送って下さったエールに感謝し、心から哀悼の意を表したい。（I）